

平成31年の稲作がスタート！ 丁寧な種子予措で良好な出芽揃いを確保！

やまがた攻めの米づくり日本一運動本部

【気象の状況】

4月11日発表の東北地方の1か月予報では、向こう1か月（4月13日～5月12日）の気温はほぼ平年並みの見込みです。また、日照時間は平年並みか多く、降水量はほぼ平年並みの見込みです。特に4月20日以降は数日の周期で天気が変わり、寒暖差が大きくなる見込みです。

【播種の状況】

播種は、庄内地域で4月8日頃から始まっています。内陸では、現在、種子消毒や浸種等の種子予措作業が行われています。

◎ 当面の技術対策

健苗育成のためには、良好な出芽揃いを確保することが重要です。気温が低く経過していることから、浸種時の水温をこまめにチェックしたり、育苗床の地温を確保するなど、丁寧な管理に努めましょう。

（1）浸種の積算温度をしっかりと確保！

これまで気温が低く経過し、水温も低くなっています。浸種の水温は10～15℃を確保するように努め、「はえぬき」や「つや姫」「雪若丸」等は積算水温120℃を目安に十分浸種を行い、吸水不足や吸水ムラにならないようにします。

（2）催芽は芽切れをしっかりと確認！

催芽は、種籾の最適発芽温度（30～32℃）で概ね20時間を目安に行いますが、催芽ムラは、播種後の生育不揃いにつながるため、全体の芽切れをしっかりと確認してから終了しましょう。

（3）適切な播種量で健苗育成！

移植計画にあわせて、苗種別の播種量や育苗日数、温度管理などを考慮し、適期に播種しましょう。なお、「雪若丸」等、品種毎の千粒重により適切な播種粒数となるよう播種量を加減し、品種毎に播種機を調整します。各品種とも葉が伸びすぎず葉齢が揃い、下葉まで葉色が濃く茎の太い丈夫な苗に仕上げましょう。

苗の種類と播種量、育苗日数の目安

	葉数 (枚)	播種量 (g)		育苗日数 (日)
		乾籾	催芽籾目安	
稚苗	2.2～2.5	150～180	180～210	20～25
中苗	3.2～3.5	80～120	100～150	30～35

（4）育苗床の地温を確保！

例年、地温が低い育苗床に苗箱を並べたことで、発芽不良を引き起こしている事例が見られます。育苗ハウス等は早めに準備して、苗床を十分暖めてから苗箱を並べましょう。無加温出芽では、加温出芽以上に注意が必要です。苗床の地温に加え、適切な被覆資材の使用や、きめ細かな温度管理で、良好な出芽揃いを確保しましょう。

つや姫は今年でデビュー10年を迎えます。消費者に最高のつや姫を届けましょう！

STOP!農作業事故 農作業事故防止運動春季強化期間(4/10～6/10)